



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 株式会社KHC 上場取引所 東  
 コード番号 1451 URL <https://www.khc-ltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 喜夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 青木 渉 TEL 078-929-8315  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,312	△15.8	23	△77.9	9	△90.3	2	△95.4
2020年3月期第1四半期	2,747	—	107	—	96	—	56	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2百万円 (△95.2%) 2020年3月期第1四半期 56百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.66	—
2020年3月期第1四半期	14.55	—

(注) 1. 当社は、2019年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,575	5,416	37.2
2020年3月期	14,462	5,508	38.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,416百万円 2020年3月期 5,508百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当については、現段階では未定とし、業績予想の開示が可能となった時点で、配当予想を速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

現段階において新型コロナウイルスの感染拡大が連結業績に与える影響を合理的に算定することはできないと判断し、2021年3月期の連結業績予想は、未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染拡大に収束の見通しがつき、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	3,926,050株	2020年3月期	3,926,050株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,027株	2020年3月期	27株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	3,925,715株	2020年3月期1Q	3,906,550株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令に伴う外出自粛要請、休業要請等により経済活動が停滞し、景気が急速に悪化するなど極めて厳しい状況となりました。また、緊急事態宣言解除後、経済活動は徐々に再開されてはいるものの、感染拡大の第2波によって経済活動が再び停滞することが景気の下振れリスクとなるなど、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

住宅市場におきましては、貸家、持家、分譲住宅など、総じて着工戸数が減少しており、新設住宅着工戸数は前年比マイナスが続く推移となっております。また、昨年から続く新規受注の落ち込みが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、さらに長期化することが懸念されるなど、先行きにつきましても、依然厳しい状況が続くものと予想されます。

このような事業環境のもと、当社グループは、連結子会社5社がそれぞれの特色を活かした独自のブランドを構築するマルチブランド戦略と成長戦略としてのエリア拡大及び顧客層の拡大により地域におけるマーケットを確立し、長期的に成長することを経営戦略として事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度における新規受注の積み上げ不足による注文住宅事業の売上減少を補うため、豊富な土地在庫を生かした建売住宅の販売強化に努めました。また、顧客層の拡大を目的とした中大規模木造建築への取り組みといたしまして、株式会社L a b oが、兵庫県加古郡に本社を置く企業より、外国人労働者向け集合住宅(社宅)の建設を受注し、2020年11月の完成を目指して同年6月に着工いたしました。一方で、注文住宅におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令中に着工遅延が発生しております。建売住宅の販売が前年同期実績を上回り、売上高の底上げに貢献したものの、注文住宅事業の売上減少を補うには至らず、当第1四半期連結累計期間における経営成績は前年同期比大幅減の厳しいものとなっております。

2020年4月7日、兵庫県に発令された緊急事態宣言に伴い、当社グループにおきましては、感染拡大予防措置といたしまして、全事業所において営業時間を短縮するなどの対策を講じた他、集客イベントの中止、対面による顧客との商談の自粛など、受注活動に対する制約を受けながらの事業活動を余儀なくされたため、当該期間における受注実績は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

一方で、緊急事態宣言下の不要不急の外出自粛が要請される中、Web会議システムを用いた非対面による商談を採り入れるなど商談機会減少の回避に努めた他、子会社各社が、インターネット環境においてモデルハウス見学が体験できるライブ動画の配信を開始しました。さらに、兵庫県の緊急事態宣言が5月21日に解除された後は、モデルハウス見学会の開催を完全予約制とするなど感染拡大防止に配慮した対策を講じた上で、積極的な集客活動に努めており、ホームページ等の広告媒体への反応も増加傾向にあります。しかしながら、景気悪化に伴う将来不安等による顧客の住宅取得に対する慎重姿勢の高まりから、商談が長期化するなど、本格的な受注状況の回復に至っておりません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,312百万円(前年同期比15.8%減)となり、営業利益は23百万円(同77.9%減)、経常利益は9百万円(同90.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円(同95.4%減)となりました。

なお、当社グループは住宅事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。売上種類別の概況は、以下のとおりです。

「住宅請負」につきましては、当第1四半期連結累計期間における完成引渡棟数が48棟(前年同期は59棟)となり、売上高は1,359百万円(前年同期比24.0%減)、「分譲用土地」につきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡区画数が51区画(前年同期は54区画)となり、売上高は711百万円(前年同期比7.4%減)、「分譲用建物」につきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡棟数が13棟(前年同期は8棟)となり、売上高は216百万円(前年同期比42.2%増)、「その他」につきましては、仲介手数料の減少により売上高は25百万円(前年同期比31.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ113百万円増加し、14,575百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が498百万円及び仕掛販売用不動産が168百万円減少した一方で、完成工事未収入金が185百万円及び販売用不動産が565百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ104百万円増加し、12,249百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産及び無形固定資産が5百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、2,325百万円となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、9,158百万円となりました。

流動負債につきましては、工事未払金が147百万円及び未払法人税等が106百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ199百万円減少し、4,681百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が406百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ404百万円増加し、4,477百万円となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、5,416百万円となりました。

これは、配当金94百万円の支払いにより利益剰余金が91百万円減少したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は37.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内外の経済活動が停滞し、景気は急速に悪化いたしました。当社グループにおきましても、政府の緊急事態宣言(2020年4月7日発令)を受けた感染拡大予防措置といたしまして、同年4月17日より全事業所において営業時間を短縮するなどの対応をとっており、受注活動に対する制約等から業績に影響を及ぼしております。緊急事態宣言は同年5月25日に解除され、経済活動は徐々に再開されているものの、感染拡大の第2波が懸念されているなど、感染拡大の収束時期は未だ見通せない状況にあります。

以上のような状況に鑑み、新型コロナウイルス感染症の影響規模は予想困難であるなど不確定要素が多く、現段階において新型コロナウイルスの感染拡大が連結業績に与える影響を合理的に算定することはできないと判断し、2021年3月期の連結業績予想につきましては引き続き未定とさせていただきます。

今後、新型コロナウイルス感染拡大に収束の見通しがつき、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,874,864	2,376,678
完成工事未収入金	780,127	965,278
未成工事支出金	7,450	9,989
販売用不動産	5,570,336	6,135,860
仕掛販売用不動産	2,469,125	2,300,764
原材料及び貯蔵品	8,423	8,423
その他	436,555	454,123
貸倒引当金	△1,317	△1,446
流動資産合計	12,145,565	12,249,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	980,197	984,144
土地	980,174	980,174
建設仮勘定	4,000	—
その他(純額)	15,402	17,807
有形固定資産合計	1,979,774	1,982,125
無形固定資産		
ソフトウェア	47,135	50,347
その他	226	226
無形固定資産合計	47,362	50,574
投資その他の資産		
投資有価証券	1,314	1,536
繰延税金資産	135,576	136,112
その他	195,092	197,061
貸倒引当金	△42,393	△41,620
投資その他の資産合計	289,590	293,090
固定資産合計	2,316,726	2,325,789
資産合計	14,462,292	14,575,462

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	708,512	560,859
1年内償還予定の社債	340,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	3,417,931	3,503,781
未払法人税等	114,015	7,939
未成工事受入金	47,314	43,499
賞与引当金	50,740	25,743
役員賞与引当金	5,000	4,515
完成工事補償引当金	16,656	16,164
その他	181,108	218,898
流動負債合計	4,881,278	4,681,400
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	3,833,776	4,240,088
退職給付に係る負債	205,895	204,117
その他	3,000	3,000
固定負債合計	4,072,671	4,477,205
負債合計	8,953,949	9,158,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,499	459,499
資本剰余金	949,055	949,055
利益剰余金	4,099,939	4,008,305
自己株式	△18	△18
株主資本合計	5,508,475	5,416,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△132	15
その他の包括利益累計額合計	△132	15
純資産合計	5,508,342	5,416,856
負債純資産合計	14,462,292	14,575,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,747,634	2,312,683
売上原価	2,198,057	1,912,517
売上総利益	549,576	400,166
販売費及び一般管理費	442,384	376,527
営業利益	107,191	23,639
営業外収益		
受取利息	83	59
受取配当金	63	45
貸倒引当金戻入額	667	902
受取手数料	2,600	1,406
その他	2,561	2,119
営業外収益合計	5,976	4,534
営業外費用		
支払利息	14,696	15,454
社債利息	843	394
その他	721	2,936
営業外費用合計	16,261	18,784
経常利益	96,906	9,388
特別利益		
固定資産売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,191
特別損失合計	—	1,191
税金等調整前四半期純利益	96,924	8,196
法人税、住民税及び事業税	25,785	6,215
法人税等調整額	14,303	△608
法人税等合計	40,088	5,606
四半期純利益	56,835	2,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,835	2,590

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	56,835	2,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	148
その他の包括利益合計	△32	148
四半期包括利益	56,802	2,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,802	2,738

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。